

愛媛県PTA連合会長賞 レポート部門  
 「藤堂高虎 伊賀上野城 津城跡 二条城をめぐる」  
 松山市立さくら小学校 第6学年 矢野 義侑

# 藤堂高虎



## 藤堂高虎と伊賀上野城 ～崩壊と復活～



↑  
高虎が城主  
面制へ移動

↑  
高30mの  
石石塔

←内堀

1408年に徳川家康の命により当時今治城主であった藤堂高虎が伊勢安濃津・伊賀(現三重県)に移動することになりました。高虎は大阪の豊臣方との決戦に備えた防衛の城として本丸の四方を大きく拡張し西側を中心に内堀に面して高石垣を築き新たな天守台を設けました。高27mの天守台に五層で約20mの大天守を築きました。しかし「大風雨」のため建設途中で倒壊しました。2年後に大阪の陣への参戦となり元の後の武家治法度による新たな城作り禁止もあり再建は出来ませんでした。現天守塔は、1935年(昭和10年)に川崎克さんが財を投じて、木造三層三階で復讐したものです。1階は展示館になっています。3階はパノラマ展望になっています。伊賀上野城には、高虎が手がけた居城として、宇和島城、今治城に続けて3城目になります。